

の 広報 のぼりばつ

●ハクチョウさん今年も仲良くしてね

幌別川の白鳥テラス周辺には10月下旬からオオハクチョウが飛来しています。この白鳥テラスで幌別小学校のクラブ活動の一つ「白鳥クラブ」が、11月18日第1回目の観察を開始しました。12名の部員は、週1回白鳥の様子を観察したり、えさを与えたり、シベリアへ飛び立つ3月まで白鳥たちとふれあいを続けます。



特集

- ◆登別ショッピングセンター「アーニス」オープン
- ◆市民リポート 私の国際交流
市民リポーター 東海林明美
- ◆市政懇談会
- ◆登別市職員の給与公表
- ◆さらり
学校給食功績者として表彰された
学校給食センター調理員
斉藤梅子さん

12 / 1
1994
No.530

12月9日(金) オープン



▲▲アーニスは、敷地6,828平方メートル。鉄筋コンクリート造り4階建て。延床面積14,328平方メートル、総事業費用約35億円で建設。

再開発事業の幕開け

幌別地区商店街近代化推進事業の核店舗として建設を進めてきた登別中央ショッピングセンター・アーニス(ANIS)が、12月9日待望のオープンを迎えます。

幌別地区商店街近代化の構想は、JR幌別駅西口に広場・バスターミナルをつくり、駅から富士橋を通り旧新日鉄社宅入口までの区間の個店をそれぞれ近代化に改装していくという構想です。その中の中心店舗(核店舗)として位置づけられたのがショッピングセンター「アーニス」です。

アーニスは、地元商店街を中心に25店舗が入居し、これまでのまち並みイメージを一新して北欧風のしやれた外観となっており、淡いピンク色やベージュを基調とした4階建のモダンな店舗です。アーニスのオープンは、中央町4丁目周辺の市街地を再開発する幕開けの事業なのです。

ふたつの事業が

同時進行

幌別地区商店街近代化推進事業は「市街地再開発事業」と「街路整備事業」が同時に進行しています。

「市街地再開発事業」は、中央町4丁目旧銀座通り商店街に核店

舗を建設し、商業機能を集積しようという事業です。核店舗を建設運営するのは、地元を中心とした



▲旧銀座通り商店街

商業者でつくる協同組合登別中央ショッピングセンター(佐藤七郎理事長・組合員16名)で、平成3年5月に協同組合を設立し関係業者全員が一丸となって進めています。

「街路整備事業」は、北海道が事業主体となり、昨年度から着手。道道北駅前通410メートル区間(JR幌別駅西口前広場から富士橋大通り商店街を通り、旧新日鉄社宅入口まで)を直線化し、道路を幅20メートルに拡張、歩道を両サイドに5メートル設ける事業です。

この街路整備事業に合わせて、富士橋大通り商店街振興組合(成田幸久理事長・組合員36名)が平成11年度をメドに個店の改築を進め、北のメルヘンを感じさせるまち並みに景観を統一し、魅力ある商店街をつくりだそうという計画です。

地元商店街が

リードする

登別市の中心商店街にふさわしいまちの「顔づくり」、さらに「市民の憩いの場」の整備を目指してアーニスは、今年4月着工。

地元主導型の店舗を基本に「地域密着型」を強調し、「お年寄りや障害者に優しい店づくり」「まちで遊ぼう、まちでリゾートする」を理念としています。

1階中央には、約330平方メートルの吹き抜けにアーニス広場を設け、作品展など市民のコミュニケーションの場として開放します。駐車場は、3・4階合わせて約260台分を確保。入、出店の車の通りみちは、ゆるやかな斜路としており、自転車置き場も十分なスペースをとっています。



▲解体工事中

●幌別地区商店街近代化推進事業
登別中央ショッピングセンター

Anis

アーニス

皆さんに愛される
アーニスに



協同組合登別中央
ショッピングセンター
理事長
佐藤七郎さん

地元の商業者が商工会議所、市、市議会など関係機関の皆さんの全面的なバックアップを得ながら、国の融資や許認可手続きなど、全員一丸となって建設に向けて進めてきました。地権者の皆さんの協力も得まして、いよいよ9日午前9時オープンの運びとなりました。今後は、地元をはじめ広い地域の消費者の皆さんに愛されるショッピングセンターとするため努力してまいります。

さらに
魅力ある商店街に



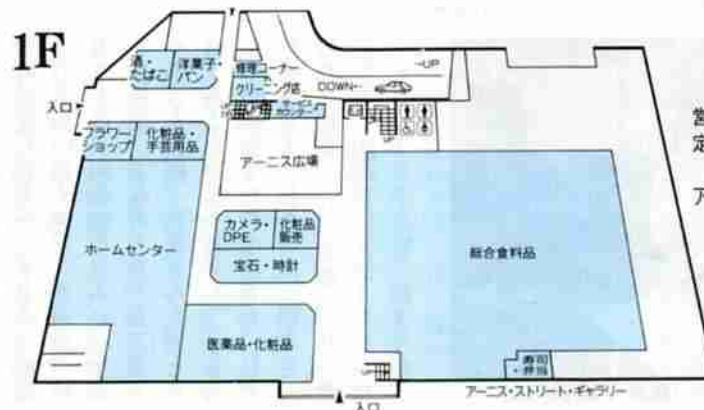
富士橋大通り
商店街振興組合
理事長
成田幸久さん

JR幌別駅西口から旧新日鉄住宅入口までの複雑な町並みを整備する道道の街路整備事業が進んでいます。これに合わせて、富士橋大通り商店街を近代化して魅力ある商店街にしようと頑張っているところです。今は、まだ何も見えてませんが、平成11年度をメドに北国らしいイメージで個店を改装していきます。これらが完成するとまちなみは一変して、活気のある商店街に生まれ変わるものと思います。



1・2階店舗。3・4階駐車場。
売場面積は、4,742平方メートルと協同組合方式の共同店舗としては道内で最大規模を誇ります。

一つの店舗ですべてがそろった「ワンストップショッピング機能」を持つ業種構成となっています。



営業時間 午前10時～午後8時
定休日 第2・第3木曜日
(変更する場合があります)
アーニス ☎0121
(オープン以降)



「アーニス (ANIS)」とは・・・

① AMUSEMENT・TOWN
(楽しさあふれる街)

② NOBORIBETSU (登別)

③ INTEGRAL
(欠かすことのできない)

④ SHOPPING CENTER
(ショッピングセンター)

の頭文字をとった造語で市民公募によって決定しました。



▲アーニス駐車場入口。市道はカラー舗装に整備中。



▲シンワデパート隣の入口。



▲商品の陳列を待つ店内。

私の国際交流

本場中国のギョウザづくりを体験



市民リポーター しょうじ 東海林 あけみ 明美 (若草町)

国際交流という言葉が耳慣れた日本だが、その実態は、心とは裏腹に腰が引けているように思う。あるテレビ番組で、ウイッキーさんを見つけるとクモの子を散らすように逃げる人々。私も同じなのだ。そんな私が国際交流なんて夢のまた夢なのだか、興味が無い訳ではない。私にも気になる外国がある。中華人民共和国、中国だ。

私が中国に興味をもったのは14年前になる。「昔、文字をいただきました。今、本を返します」という新聞広告だった。そのころ中国は空前の日本語ブーム。眠っている本を使ってもらおうという広告だ。さらにペンパルも紹介され、以来、江蘇省に住む男性と文通を続けており、中国に引き付けられる今の私ができあがったのである。そんな私に、中国から帰られた桜木町に住む松本ハツ子さん(65歳)との出会いのチャンスが来た。松本さんは、昭和60年日本に40年ぶりに帰国。去年の8月からご主人や娘さん夫婦、お孫さんたちと生活するようになった。ハツ子さん以外中国生まれの中国育ち。私たちを迎えてくれたのは、松本さんの長女桂英さん(43歳)、孫の曉子さん(20歳)の女性3人だった。えーい！日中友好の始まりだ。



▲左から東海林リポーター(後姿)、曉子さん、桂英さん、ハツ子さん。

食べる？食べない？ 中国の「食文化」

まず、桂英さんと曉子さんに中国の食文化とまではいえないが、食べ物に関して聞いてみた。

主食は日本と同じくお米かな？

曉子さん「米と小麦粉と半々。小麦粉はクレープのように焼き、野菜炒めなどを巻いて食べます」

4つ足は机以外、飛ぶ物は飛行機以外食べると言われますが、犬や猫も食べるってホント？

曉子さん「えー！私の所は食べません!!」(香港や広州など南の方の食文化らしい。松本さんは北京の近くの出身。中国は広いのだ)

中国料理は火の料理。日本のコンロでは火力が弱いのでは？

ハツ子さん「最近では中国もガスコンロ。大丈夫です。でも同じように作っても微妙に味が違います。これは火力よりも水の違いかなど思います」

中国というラーメンやギョウザが思い浮かぶ私ですが、日本のものとどこか違いがあるの？

曉子さん「ラーメンのめんは真っすぐです。ギョウザにニンニクは入れませんよ。日本のギョウザまだ食べたことありません」と、なれば作るしかない。「食べ比べてみよう」ということになり、私の「国際交流ははじめの一步」は、本場中国のギョウザづくりで始まった。



▲さっそく、みんなでギョウザづくりにとりかかった。

ギョウザづくりのはじまり、はじまり

材料
キャベツ半分、ニラ2束、
シヨウガ1片、ひき肉400g、
小麦粉(皮用)1kg

具と皮の作り方

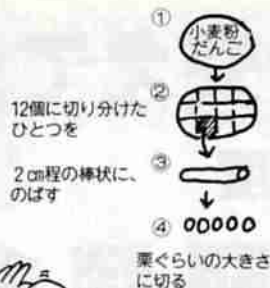
①ひき肉を箸でバラバラとほぐしながら、コシヨウとしよう油を少しずつ入れていく(量は好みだが結構入った)。

②野菜をみじん切りにし①に加え、塩・ゴマ油・サラダ油少々。ここで味の素を振った。中国にも味の素があるとのこと。驚いた。

③お次は、興味津々の皮づくり。小麦粉一袋(少々残して)に水を少しずつ加えながら、耳たぶ程の軟らかい小麦粉だんごを作る。

技あり 皮づくりとイチヨウの葉

残した粉を台に広げ、だんごを
図のように切り分ける。棒状にの



ばした小麦粉だんごをくるくる回しながら、栗ぐらいの大きさに切った。左手の親指と人差し指で④をはさみ、右手にもった棒で押さえながらくるくると回すうちに一枚の皮ができあがった。その間2、3秒。うーんお見事。指先の返しポイントかも。さすが本場。見とれているうちに皮はどんどんでき、市販の皮より小さくて厚い。さあ、包まなくては。具を中央にのせ二つに折り、皮の上をぐつと押さえた。次に両手で左右の後方の皮を一部中央に寄せ、両はじをしつかり押さえる。まるでイチヨウの葉が2枚並んでいるようなかわいらしさだ。

さて、私の番。具をのせ二つに折る。ここまではできる、軽い軽い。しかし、あのイチヨウの葉ができない。何度やっても桂英さん



▲具の包み方、皮ののばし方に苦戦する東海林リポーター。

から「コレ、ダメネ」が返って来る。やつとOKがでたのは、6つ目位だった。

包み方がダメなら、皮だと今度は皮づくりにチャレンジ。イメージは丸なのに、できあがったのは多角形。トホホ・・私ってこんなに不器用だったかしらと落ち込んでしまった。

日本式ギョウザを披露

中国式はあきらめて、ニンニクたっぷりの「日本式ギョウザ・東海林家風」を仕上げることにした。皮はもちろん市販のものだが、片面にひだを寄せて包むことは手慣れたものだ。「薄くてきれい。光ってるね」と、皮を不思議そうに覗き込んだら見つける。

中国では水ギョウザが主らしいので、両方ゆでた。中国式は皮が

少し厚い分プルンとして柔らかさう。色もクリーム色で食欲をそえられる。東海林家のギョウザは、ニンニクの香りがブンブン、皮が薄いので見た目も全然違う。

暁子さんの弟、暁生君（18歳）が帰宅。彼がスープを作ってくれたことになった。トマト・キュウリ・長ネギ・シヨウガのあっさりスープ。しょう油少々が入った薄味で、仕上げにとき卵が入った。「トマトは生で食べません。気持ち悪いよ」。

うーん：これぞ食文化の違いだ。

いざ 試食

酢としょう油でタレを作り、ギョウザやスープ、私が持参した天ぷらをみんなで囲んだ。私は、もちろん中国式から食べてみた。ほつりとして柔らかい歯ざわり、あっさりした味だ。これが中国の味なんだと妙に感心してしまった。日本式は、肉がギュッとしまつて歯ごたえがある。焼くのはひと味違った味わいだ。

松本家のみんなは、ニンニクた



▲全部で110個のギョウザができあがった。

なした。暁子さん、暁生君は市内の会社で働きながら定時制高校に通っている頑張り屋だ。とても上手な日本語には、大変な努力を感じた。今度会うときは、私も「ニイハオ」と勇気を出して言ってみよう。

つぶりの日本式ギョウザを恐る恐る食べた。感想を聞くと「おいしいよ」といつてくれた。

食事をしながら、日本の暮らしについて聞いてみた。初めて地震を体験して、とても恐ろしかったこと、靴を履いたまま家が上がってしまったこと、初めて見た押し入れをベッドと間違えたことなど、たくさんエピソードがあった。

「さめたギョウザは焼くとおいしいよ」と、帰り際お土産にいただいた。この間、私は中国にいるような不思議な空気に包まれていた。

違いを 認め合いながら

こうして、私の国際交流初体験は終了した。松本さんに聞いた中国のことについて、もつともつと書きたかったが、紙面の都合上「食文化」しか書けなかったのが残念。不安だった言葉の壁は、ハツ子さんを始め、暁子さんたちの上達した日本語に頼りば

最後、温かく迎えてくださった松本さん一家に感謝申し上げます。謝々！ 再見！



▶暁生君の包丁さばきは、見事でした。



▲できあがり。みんなで食事をしながら和やかに歓談しました。

ひさを交えて活発にまちづくり論議

平成6年度

市政懇談会



▲今年度は、8つの連合町内会からテーマが提出され6か所の会場で開催

市は、各連合町内会を単位に、将来の登別を見据えて地域で抱えている問題やまちづくりについて、市理事者とひさを交えて語り合う市政懇談会を平成元年度から行っています。

今年度は、11月8日から6日間の日程で8連合町内会で開催、計215人が参加しました。

懇談会では、市側から上野市長を始め理事者、各部長など約20名が出席し、各連合町内会からあらかじめ出されていたテーマに沿って活発な論議が交わされ、市からは、在宅保健福祉サービスの充実などを目標に掲げた「登別市高齢

者保健福祉計画」の概要を説明し理解を深めました。

市は、この懇談会のなかで、地域の抱える課題や市政への貴重な意見・要望などを伺うことができ、また、懇談の内容を今後の市政に活かして参ります。

今月号は、各連合町内会から出された主なテーマについて紹介します。

- ◆【登別連合町内会】 11月8日
 - ◆登別地区総合庁舎と登別保育所新築について
 - ◆「円山通」の早期開通、学園通りの歩道拡充整備について
 - ◆国道36号線の拡幅と交通信号機、バス停の移設について
- ◆【青葉連合町内会】 11月9日
 - ◆下水終末処理場箇所交差点の拡幅工事について
- ◆【登別温泉連合町内会】 11月10日
 - ◆登別温泉市街地バイパス事業の進捗状況と事業内容について
 - ◆温泉地区公共施設などの建替計画について
- ◆中登別地区の市街化区域編入の見直しについて
- ◆公共下水道計画について
- ◆【鷺別連合町内会】 11月11日
 - ◆鷺別海岸線の防災対策、旧鷺別港の防波堤復旧について
- ◆【新生連合町内会】 11月14日
 - ◆市民意識と連帯感の高まりを期待するルート建設と組織的活動について

- ◆亀田記念公園のこれからの構想について
- ◆【美園・若草連合町内会】 11月14日
 - ◆保安・交通・道路整備について
 - ◆下水道の整備拡幅について
 - ◆将来の美園・若草地域発展の構想について
- ◆【鉄南連合町内会】 11月16日
 - ◆幌別バイパスの交通安全と騒音、電波障害対策について
 - ◆幌別鉄南地域の近代化促進について
 - ◆青少年の非行防止について
 - ◆防災に対する取り組み強化と改善について
- ◆【中央連合町内会】 11月16日



▲登別連合町内会では、47名が出席

平成6年度市政懇談会



▲市側から上野市長はじめ理事者、各部長など約20名が出席し懇談します

- ◆来馬川河川敷地と堤防用地の整備について
 - ◆町内会の現状と活性化対策について
 - ◆駅前開発計画の内容について
- 市政懇談会とは別枠で、道路や排水整備などの「地区要望」については、11月28日、29日の2日間、市担当者が町内会役員の方から直接現況などの聞き取り調査を行いました。
- ▽問い合わせ 総務課 ☎1130

登別市 職員給与の状況

登別市職員の給与について、市民のみならずの理解をいただくため、そのあらましをお知らせします。

市職員の給与は、その職務と責任に応じ、国や他の地方公共団体、民間企業従業員の給与などを考慮したうえで、市議会で議決された「登別市職員の給与に関する条例」によって定められています。

人件費の決算

人件費とは、一般職、特別職（市長、助役、収入役、市議会議員、各種委員、その他嘱託職員）の給与、報酬、退職手当、共済費などをいいます。

平成5年度一般会計の歳出決算見込額は201億254万4千円です。そのうち、人件費は45億2446万2千円で、構成比は22.5%となっています。

初任給と

平均給料月額など

一般行政職の初任給と経験年数別平均給料月額などは、表①のとおりです。

①初任給と平均給料月額など（平成6年4月1日現在）

平均給料月額	平均年齢	区分	初任給	経験年数別平均給料月額		
				10年～14年	15年～19年	20年～24年
315,500円	41.8歳	大学卒	164,900円	273,500円	307,600円	369,900円
		高校卒	134,900円	230,200円	274,400円	315,900円

②退職手当（単位 か月分）

区分	勤続20年	勤続25年	勤続35年	最高限度額
自己都合退職	21,000	33,750	47,500	60,000
勸奨・定年退職	28,875	44,550	62,700	62,700

職員手当の状況

◎期末・勤勉手当

民間のボーナスに相当するものです。国と同じ年間53か月分です。

◎扶養手当など

扶養手当は扶養家族のいる職員に毎月支給し、配偶者1万6千円、配偶者以外の2人目まで5千5百円などとなっています。

住居手当は、毎月支給し、持家が5千円、アパートなど借家の支給限度額は2万7千円となっています。

退職手当

退職手当は、退職時の給料月額に、退職の理由別に定められた表②の支給率を乗じて支給されます。内容は表②のとおりです。

市長の

給料月額など

市長などの給料月額と市議会議員などの報酬月額は、表③のとおりです。なお、年間の期末手当は、市長、議長なども支給率は53か月分となっています。

③市長の給料月額など（平成6年4月1日現在）

区分	給料月額	区分	報酬月額
市長	870,000円	議長	400,000円
助役	700,000円	副議長	350,000円
収入役	630,000円	議員	320,000円

④部門別職員数の状況（各年4月1日現在）

区分	職員数			対前年増減数		
	平成4年	平成5年	平成6年	平成4年	平成5年	平成6年
一般行政部門						
議会	6	6	6			
総務企画	103	106	107	1	3	1
税務	26	26	27	2		1
民生	88	91	91	2	3	
衛生	55	54	60		△1	6
労働	4	2	4		△2	2
農林水産	11	11	10			△1
商工	21	19	18	4	△2	△1
土木	54	53	55	1	△1	2
小計	368	368	378	10		10
特別部門						
教育	75	73	71	△1	△2	△2
消防	79	83	87	2	4	4
小計	154	156	158	1	2	2
普通会計	522	524	536	11	2	12
公共企業等						
水道	20	20	20	1		
下水道	17	19	18		2	△1
その他	10	10	11	△5		1
小計	47	49	49	△4	2	
合計	569	573	585	7	4	12

職員数の状況

登別市の一般職の職員数は、表④のとおりです。

各年度の職員数は、条例で定められている615人を限度として、事業や業務量に応じて毎年見直しを行っています。本年度は、総合福祉センターしんた21を拠点とした在宅福祉サービス、健康増進業務への対応や消防力の強化を図るためなどに増員を行いました。

▽問い合わせ 職員課（☎551132）





暮らしに役立つ ヒントがいっぱい 第17回 消費生活展



▲衣のコーナーで行われた絹製品のクリーニングの仕方やアイロンかけのようす。

11月19日・20日の2日間、市民会館で「第17回消費生活展」(市、登別消費者協会主催)が開かれ、「地球にやさしい暮らしとは何か?」をメインテーマに衣食住の3つのコーナーが設けられ、たくさんの方が行われました。

会場では、古着などを使ったりフオーム作品の展示や牛乳パックの紙すきの実演などが行われ、訪れた市民は、生活に関することを楽しみながら学んでいました。

市からも水道部による水道バッキン取替実演や水道よろず相談、環境衛生課によるゴミ分別クイズなどリサイクルに関するコーナーも出展されました。

秋晴れの10月29日・30日の2日間、登別伊達時代村と札内ソシヤルグリーンの草原を舞台に、テレビ番組「さんまのなんでもダービー」(日TB毎週火曜日午後7時放映)のロケが繰り広げられました。札内で行われた「わらロール転がしレース」には、たけし軍団のラッシュャー板前チームほか、地元酪農家チームやクマ牧場チームが出場。全国から集まった強豪チームを相手に奮闘していました。

ロケでは4レース収録。時代村分が12月13日放映で、ほかは以後順番に放映される予定です。

テレビ番組 「さんまのなんでもダービー」が やって来た



▲白熱したレースが展開された「わらロール転がしレース」。

私が見た登別

まちのPRには 知里真志保さんも



やま だ ちり しげ
山田守成さん
(富士町・31歳)



—いつから登別に?
昨年4月に、5年間住んでいた音威子府村から転勤して来ました。実家は群馬県中之条町にあります。18歳までいました。

—中之条町はどんな所ですか
人口約2万人、宿場町のたたずまいが残る町です。草津温泉の湯ただれを治す「仕上げの湯」と言われる沢渡温泉や四万温泉があります。特産はコンニャクです。

—登別を知っていましたか
近隣の草津と登別が、姉妹温泉ということで知っていました。

草津と登別はよく似ていますよ。—登別に住んで感じることは? 海のある町で初めて暮らしました。海がバァーと広がり、解き放たれた気持ちになりますね。温泉が好きですが、登別温泉の敷居がちよっと高く感じられます。入館料が少し高いのと、時間帯などを気にせず、気楽に日帰り入浴できる所が少ないからかな。温泉銭湯のさざり湯には駐車場がないですね。

高校で国語を教えている関係から、音威子府にいたときアイヌ語に興味を持ちました。文献を調べたりすると、知里真志保さんの名前がよく出てくるのですが、彼が登別出身者ということとを登別市の郷土資料館に行つたときに初めて知りました。登別を紹介するときに、郷土が誇る人として、もっと紹介した方がいいのでは(?)。



ふるさと広場実行委員会は、国際家族年にちなみ家族や仲間であらうと、6月ジャンボかぼちやの苗を約200株無料で配布していました。11月1日、暑い夏の間、その苗から見事に育ったかぼちやたちのコンテストが、市民会館で行われました。

コンテストには保育所や小学校、ふるさとふれあい農園などで育ったうちのえりすぐりのかぼちや7個が出品。見事1位に輝いたのは、重さ46.3g最大周囲18.3cmの登別小学校産のもの。「どんなことに苦労したの」のインタビューに「どんどん大きくなって運ぶのが一番大変だった」と、学校代表の上原拓也君ら3名は笑顔で受賞を喜んでいました。



▲レプリカは高さ約36cm、重さ3.6kg。復元像は高さ約46cm、重さ約6.5kg。材質は木粉や樹脂などの複合材。

円空作観音像のレプリカ(複製像)が完成 復元像もプレゼント

市指定文化財「円空作観音像」(登録観光協会所有)のレプリカが完成しました。市は、平成2年文化財保護条例を制定し、昨年9月文化的に価値が高いものを「登録市指定文化財」に指定しています。その一つの「円空作観音像」は、明治44年の山林火災で焼け焦げているもので、いたみがひどいため、腐食処理とレプリカの作成を函館市「ミカミ美術工芸社」(三上巖さん経営)に依頼。三上さんはレプリカ製作と一緒に焼ける前の復元像も製作して市に寄贈してくれました。思いがけない復元像の寄贈で、市はレプリカと一緒に広く市民の皆さんや観光客に見ていただくため、現在保存している地獄谷展望丘と郷土資料館に設置を考えています。

ジャンボかぼちや

第一位は登別小学校

コンテスト



「よいしょ。第一位に輝いたかぼちやを抱きかかえる登別の児童代表。」

仲間たち

目の不自由な人たちのために朗読奉仕

登別朗読ボランティアの会

代表 川仁菊子さん

(☎842878)



昭和58年から目の不自由な人のために声の図書を作成しています。毎月1回「しんた21」で勉強会を開き、各自が吹き込んだテープを持ち寄り聞きながら批評し合い、技術の向上を図っています。

9名の会員は「広報のほりべつ」を交替で受け持つほか、既に、点字図書室にある弱視者用大活字本図書冊、会員が自由に選書した小説や全集など70冊をカセットテープに録音済みで、その数は85巻にものほります。

「広報紙は、一日でも早く視力障害者の皆さんに届けたいので何はさておき吹き込みます。」

会員の皆さんは、自宅で家事の合間に時間を見つけての朗読。周りの雑音に苦勞しながら、間の取り方や聴く人が疲れないように読むことを心がけています。時代物の本は、男性の声がよい場合があり、男性も含めて会員を募集中。



きらり

胆振管内で一人
学校給食功績者として表彰された

学校給食センター調理員

斉藤 梅子 さん
(幌別町・56歳)

学校給食の発展と充実に貢献した人に贈られる平成6年度学校給食功績者(北海道教育委員会主催)に、胆振管内からただ一人、26年間登別市学校給食センターに勤務している調理員の斉藤梅子さんが選ばれました。

受賞した感想は

「びっくりしました。自分ではそういう賞をもらえるなんて思ってたかったですから非常にうれしいです」

給食の材料は大変な量ですね

「そうですね、毎日6千食作るんです。家庭の料理と手順はだいたい同じですが、大きなヘラで材料を混ぜる作業はすごく大変です。焼きそばなんかは一番重くて腰にずっしりきます。全部釜で炒めるものでしょ、最初から最後まで焦げつかないように混ぜてなきゃならないですからね、汗をかきながらやっていますよ」

26年間続けているこの仕事の苦労は

「好きなんですけどねこの仕事。子供達に喜んで食べてもらっていると思ってる、それを楽しみに夢中になってやっていますからね。でも、手をかけて作ったものがいっぱい食べ残して戻ってきたら残念です」

子供達に人気のあるメニューは

「焼きそばやカレーライスは昔から人気があって喜んで食べてくれます。給食の方がおいしいなんて言ってくれる子もいて、お母さんに「給食のカレーライスと同じくして」って言うそうです(笑)うれしいですよ。あとはデザート類です。最近はこちらで手作りなんですけど、よく食べてくれます。15年くらい前では考えられないですね。ご飯給食が無かったころは、パンとみそ汁なんてメニューもありましたから(笑)」

最後に、給食を楽しみにしている子供達に何かメッセージを

「みんなにおいしく食べてもらおうと思って一生懸命作っているの、残さなくて食べてくださいね」

取材を終えて、

給食を食べる子供達には、斉藤さんをはじめ、一生懸命作ってくれた人達のことを思いながら食べてほしいと思います。



大きな釜とヘラを使って、いつも汗だくの調理

友達の輪

わが家の自慢

大正琴



諏訪 美沙子 さん
(若草町)

諏訪さんのお宅をお訪ねしたのは、小雪の舞う寒い日だった。

大正琴を始めたきっかけは、10年程前、子供さんが遠く離れ、ご主人との二人暮らしに淋しさを感じていたので、以前から興味があった大正琴を通信販売で求めた。楽器は粗悪品で一人では上達もしない。そんな時、道新文化教室をご主人が勧め、手続きまでしてくれたそうだ。始めてから11年目の今は、琴城流の指導員。今年の発表会は総勢280名の大演奏会だったと聞く。大正琴は音域や音色によって使う琴が異なり、諏訪さんは現在7台お持ちとのこと。「中には亡くなった友人の形見のものもあるの、全部が私の宝物です」とおっしゃった。ぜひその音色をお聞かせ願えないものかと無



理を言うと、気軽に応じてくださる。荒城の月、さくら変奏曲など4曲聞かせてくれた。

目を閉じて琴の調べに身をあずける。哀調をおびた、どこか懐かしいような音色に包まれていると、竹下夢路の世界の少女になったようで不思議な気分。

琴を始めると皆さん10歳は若返るそうだ。趣味が生きる張りにも、支えにもなるのだろう。「それに指を使うからボケ防止にもなるの」と、さわやかな笑顔を向けてくれた。(市民リポーター 小松 裕子)
次回は、野崎信夫さん(登別東町)です。

となりまち ホットライン

室蘭市

初日の出は
白亜の灯台、
地球岬で



1995年の夜明けを、冬景色にたえず
む白亜の灯台、地球岬で迎えません。

水平線から上がってくる太陽は、これか
ら始まる1年の夢や期待をふくらませてく
れます。日の出の時刻は7時5分ごろにな
る見込みです。

地球岬のほかに、インタキ浜や、マスイ
チ浜も初日の出の見どころで、当日は3か
所とも地元町内会などによるホットミルク
や甘酒のサービスが行われます。ぜひお越
しください。

※地球岬とマスイチ浜周辺は混雑防止のため交通規制が行われますので、ご注意ください。

▷問い合わせ 観光振興室 (☎221111)

伊達市

だてカルチャーセンター
あけぼの
オープン初コンサート



伊達吹奏楽団の20周年記念演奏会が行
われます。演奏会は、2部で演奏するムソ
ルグスキーの代表作「組曲・展覧会の絵」
を全曲演奏します。吹奏楽で全曲演奏する
ことは、全国的にも非常に珍しいことで
もちろん伊達では初の試みです。この機会
にご家族そろってカルチャーセンター初コ
ンサートを鑑賞してみませんか。

▷日時 12月10日(土)17時30分開場
18時開演

▷場所 あけぼの(カルチャーセンター)
大ホール(伊達市松ヶ枝町)

▷入場料 無料

▷問い合わせ 小川さん
(☎0142241892)

おめでとう 秋の叙勲

平成6年秋の叙勲で、市内にお住まいの3名の方が受賞さ
れました。地方自治、教育、海上保安と分野は違いますが、
それぞれが一筋に歩んできた道。3名の喜びの声を紹介します。

勲5等 双光旭日章



たけむら かめきち
竹村亀吉 さん
(常盤町・78歳)

議員活動24年間
まちの発展に尽力

昭和38年登別町議会議員に初当
選以来、平成3年3月勇退まで通
算6期24年間町議、市議として活
躍し、この間副議長も2年間務め
ました。
「振り返っても、これといって
私が出たというものはないが、
活力のある町にすることが議員活
動の基本でした。今後も、登別の
まちが発展するよう自分のできる
ことをして行きます」と、笑顔で
話してくれました。

勲5等 双光旭日章



あんだ まさお
安田麻夫 さん
(常盤町・73歳)

47年間聖職者の
意識貫く

昭和16年帯広市帯広国民学校を
ふりだしに教壇に立つ。初代西陵
中学校長、鞆別中学校長を経て昭
和56年登別市教育長に就任。昭和
63年9月勇退するまで47年間、教
育者として多大な功績を残しまし
た。「教師は子供の将来に責任を持
つ聖職者たれ」の方針を貫き、「今
回の受賞で今までの苦勞が報われ
ました」と、喜びを語ってくれまし
た。現在も市社協会長、連合町内
会長などを務め多忙な毎日です。

勲6等 瑞宝章



ふじた かずお
藤田一男 さん
(若草町・64歳)

40年間海難事故の
捜索や救助に尽力

昭和26年海上保安庁に入庁し、
40年間海難事故の捜索や海上の取
り締まりに尽くしてきました。釧
路、小樽、稚内、室蘭などで巡視
艇の船長などを務め「好きな海の
上で仕事ができました。昭和60年
1月室蘭港内で韓国船が座礁して、
猛吹雪の中、乗組員23名を無事に
救出したことが一番印象深く残っ
ています。章をいただく程のこと
をやったのかどうか」と、謙虚に
振り返っていました。

フレッシュ ボイス



かな や たかこ
金谷貴江 さん (桜木町・19歳★さそり座★) 登別市農業共同組合勤務

地元の高校を卒業し、社
会人1年生の貴江さんは、
窓口係で預金や為替などの
事務を主に担当しています。
「お客さまからの大切な手
形を扱ったり、急な送金な
ど、時間に追われ毎日が緊
張の連続です」と、肩をす
くめる。
「職場では、お互い助け合
うことをモットーにしてい
ます。自分の一日の仕事が
終わってもまだ終わってい
ない人の仕事を手伝ったり
と、みんな仲が良いのが自
慢です」と話す。
冬のボーナスの使い道を
尋ねたところ「車のローン
と残りは貯金します。冬の
ボーナスは農協にお願いし
ます」と、お店のPRも忘
れませんでした。



生涯学習

夢描こう

生涯学習は、学ぼうとするとする人の興味や意欲が大事な支えになります。個人で学習することもできますが、仲間と一緒に学ぶことで互いに刺激し合ったり、助け合ったりすることで学習が継続しやすくなります。今回は、絵画サークル「パレット」の活動を会長の吉澤弘さんに伺いました。



▲静物画の制作風景

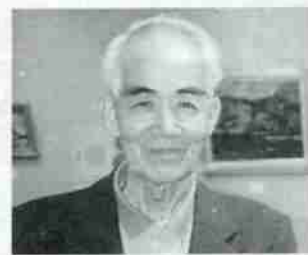
今年では、毎年開かれる登別美術協会の公募展に入賞入選者が多数であるようになりました。他に、全道お母さん美術展に協力出品もしています。活動は、月2回、暖かい季節は近郊でレクリエーションを兼ねて写生会

「パレット」は、公民館講座の絵画教室受講終了者の有志で発足して今年で8年目に入りました。

サークルの名称は、絵の具で汚れながらもキャンパスや画用紙に輝く自己表現としての絵を仕上げるための大事な役割を果たす「パレット」から名付けました。地味でもやがて素晴らしい作品を描けるようになることを願っています。

や一泊のスケッチ旅行などで会員の交流を図り、寒い季節は室内で静物画の製作活動をしています。

現在、初代会長の滝本さんが油彩を、吉澤さんが水彩を、副会長の早竹さんがデッサンの指導にあたっています。



吉澤 弘 さん（鷺別町・74歳）

吉澤さんは、「同好者だけの活動では、本格的に絵を追求したい人は物足りないう面もあるかと思いますが、サークル活動は、趣味を越えて人の交流の場であり、定例日の会場は楽しい集いの場にもなっています。上手へたは抜きにして描く仲間が増えてほしい」と、話しています。

（生涯教育推進室）

鬼大使 FAX 通信...⑦



リースイー・サンダーさん
（デンマーク、リンゲ市在住）
〈プロフィール〉
ミッドフュンズ高校秘書、登別市とリンゲ市の交流を深めるため、平成3年より4回来登。平成5年8月からふるさと大使。

デンマークのクリスマス

デンマークは、12月になるとクリスマスの飾りやツリーがまじの通りや家などいたるところに飾られ、私の大好きなクリスマスコンサートが教会やコンサートホールなどで数多く開かれます。

ミッドフュンズ高校の合唱団も12月には、2、3回コンサートをを行い、私も一緒に賛美歌やクリスマスソングを歌います。学校や職場では、仲間たちが集まりクリスマス料理やケーキ、果物、甘いお菓子などを食べたり、ホットワインを飲みながらお祝いのパーティーを楽しみます。

イブは、デンマークの家庭で最も大切な日です。家族みんなでクリスマスツリーを飾り、午後には教会で祈りを捧げ、賛美歌を歌います。夜は、七面鳥やあひる、ジャガイモ、ジャムを塗った焼きリンゴなどを添えたディナーを食べ、その後アーモンドを入れたおかしをクリームやサクランブスをかけて食べま



▲楽しいクリスマスを彩るデンマークのお菓子や飾り

明治40年(1907)の北海道の人口は139万人。現在の札幌市は172万人で、札幌市よりずっと少ない老幼男女を含む人数が、九州と四国を合わせた以上に広い北海道の地域に、当時点在していたのである。

富国強兵・殖産興業のためにも北海道の開拓は急を要し、また豊富な資源の開発は資本家にとり延びてくるような投資の場であった。ところが、前記のように人口数が少なく、一応は農・漁業で定着しているの

で、鉱山・道路・鉄道などの開設工夫の供給は、地元

道内に少なく本州からの応募や渡り労働者に頼らざるを得なかった。明治41年の北海タイムスに「幌別

鉱山も愈々本業にうつり、工場の設備を取り急ぎ、建築材料としての木材・煉瓦・セメントや諸機械の運搬、製煉場の設置、原料たるコークス・酸化鉄など毎日の如く馬車鉄道をもって幌別停車場より鉱山へ運搬せり。それにしても鉱夫・雑夫・土工夫・大工・木挽きに至るまで労働者の人数が足りず、現在諸所に人を派遣して募集中なり」

郷土史 点描

<55>

宮武 紳一 登別郷土文化研究会

鉱山町を訪ねて……その4

「友子制度と友愛会幌別支部の結成」

と記載している。

「本州地方に父がよく募集に行つた」と言われる鉱山関係者から伺うとやはり、全国的貧困地域の東北地方の応募が多かつたようだ。

さて、前号紹介の「幌別硫黄山友子同盟文」とは別に「幌別硫黄山友子同盟会」という資料がある。

名称は「幌別山鉱坑夫交際会」で事務所は「指定飯場に置く」。

内容は、規約・役員・月当番・会員及び入会・浪客人寄飯取り

扱い・奉願帳・共済・友子取り立て・会費・表彰・制裁の項目が第1条から第29条まで規定され細則もある。

友子における「親分・子分の関係」、友子の「取立式」、他山を訪れる場合の「一宿一飯の仁義口上」などを考えると、小学校あり郵便局・役場支所・診療所・クラブそれに従業員社宅も整備された中で暗部の



▲幌別鉱山廃鉱後の製錬所跡

存在であろうか。北海道開拓に伴う闇の部分「奈落の人々」の歴史は全道各地に多い。北海道炭鉄道の土工制(たこ部屋)点描38・39号「伏古別隧道」とともに他に記した

「伏古別隧道」とともに他に記した

我が国労働組合運動史上で画期的な「友愛会の結成」労働組合もつくられていたのである。

友愛会は大正元年(1912)鈴木文治により組織され大正8年大日本労働総同盟友愛会と改称するが、これより我が国最初のメーデーも開催され、日本農民組合の結成、吉野作造の民本主義運動、婦人運動、江戸期から法的に拘束された

賤民階級(多・非人の部落解放運動や社会運動の高まりの中で、普通選挙運動にも繋がるものであった。

北海道では大正2年、友愛会室蘭支部設立協議会が日本製鋼所を中心

に設けられ、翌3年6月道南地方唯一で最大の観劇場「母恋の共楽座」で発会式を行った。

このとき、鈴木文治会長と挨拶した室蘭支部の顧問三木治郎と同庶務会計担当の松岡駒吉は直ちに入会し本部員となり、松岡は戦後片山内閣時の衆議院議長、三木は参議院の副議長になっている。

幌別鉱山の「友愛会幌別支部」はこれらの影響を受け、輪西製鉄所を中心とした輪西支部より早い大正5年、2月30日で結成、中心メンバーは小林立蔵と日鋼から入山した石井敬助の子石井豊一である。

鉱山の労働運動が、どのように活動されていたかは明確でないが、鉱山町の千葉辰男氏の御母堂ミカさんからの筆者の聞き取り調査では「ヤマで時々ストライキをして

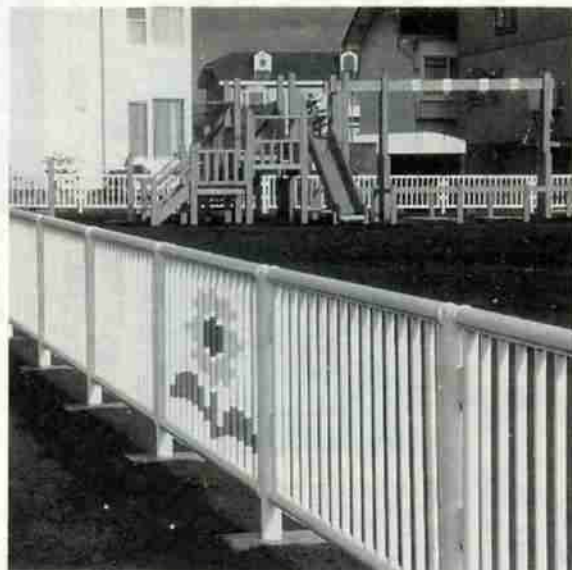
いた」と言う話だけであった。幌別鉱山の友愛会幌別支部の運命は、大正6年3月14日からの日鋼の大争議によって左右される。第1次世界大戦の日鋼は大好況の中でも賃金が増えず、最大数3,810人のストライキに入った。

会社側では集会制限や禁止。警察は札幌からの応援を加え指導者の逮捕。また旭川第7師団長藤井中尉もでてくる始末。多くの解雇、逮捕者、治安警察法違反で起訴された。大正時代のことである。

この争議の敗退により、登別市最初の労働組合、幌別鉱山の友愛会幌別支部も解体するのである。

この争議の敗退により、登別市最初の労働組合、幌別鉱山の友愛会幌別支部も解体するのである。

まちかどぶらり



ひまわり公園

若山町

登別サテイの幌別寄りに、街区公園として完成。地域の皆さんの憩いの場となるように、東屋や木製ベンチ、すべ台やブランコなどの遊具も設置しています。

広場中央のコンクリートは、ひまわりの花をイメージして配置しており、公園をぐるっとならぶフェンスにもひまわりの絵が描かれ、遊具も設置しています。

人のうごき

- 人口 57,189(+72)
 - 世帯 21,018(+37)
 - ()は前月比
- 平成6年10月末日現在

鳥名 コクガン(冬鳥)
観察時期 11月から4月



(文・写真提供 日本野鳥の会会員ヨシキリの会)

▶問い合わせ 伴野さん(☎7515)

僕はコクガン。恐れ多くも天然記念物の肩書があるのだ。マガモよりちょっと大きめで頭は黒、体は暗褐色。首の白いリング模様が特色なのだ。ガンという名は、「グワワン、グワワン」とか「ダール」という鳴き声からついたらしいよ。羽根の色合いは地味だけど、首を伸ばして腰を高く水面に浮いている姿は、どうみたら貴公子の風格だろう。

僕は、去年11月末、幌別川に初飛来したところを、ヨシキリの会の人に「バチリ」って写されたけど、僕を自撃した人は随分興奮して、僕らと一緒に空を飛びそうなくらい舞い上がってたなあ。僕らは、シベリアから飛来して、海上や港湾で生息し、めったに川へは入らないけど、幌別川の野鳥マップに載りたくて、ちょっと寄ってみたんよ。ガンの仲間、世界で14種類。日本では9種類の記録があるんだ。ひと昔の晩秋の空は「雁が音」の風雲があちこちで見られたけど、今は水面も埋め立てられ面影もないね。もっとも僕らコクガンは、隊列を組んで飛はないけどね。

